

安全なくして生産なし

2017年 9月28日

AGC旭硝子
代表取締役会長 石村 和彦

AGC

経 歴

- 1979年 3月 東京大学大学院 工学系研究科（機械工学） 修士課程修了
- 1979年 4月 旭硝子株式会社入社
 - 7月 同社 関西工場 施設部 配属
- 1987年 7月 同社 エンジニアリング部 開発G（京浜工場）
- 2000年 10月 (株)旭硝子ファインテクノ 社長（米沢）
- 2004年 9月 旭硝子株式会社 関西工場長
- 2006年 4月 同社 エレクトロニクス&エネルギー事業本部長
- 2008年 3月 同社 代表取締役 兼 社長執行役員
- 2015年 1月 同社 代表取締役会長

報告内容

- ▶ 1. AGCグループの紹介
2. AGCの安全衛生方針
3. 職場のリスクを下げるための取り組み
4. 安全意識を上げるための取り組み
5. 安全活動に果たす経営者の役割
6. まとめ

3

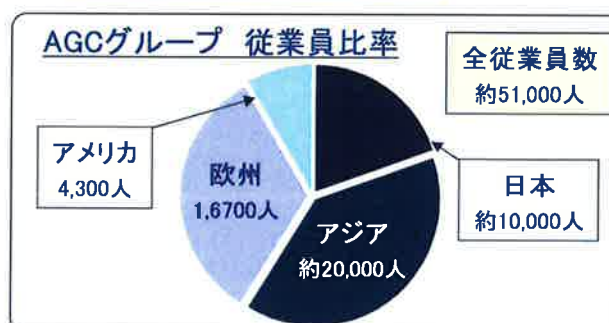
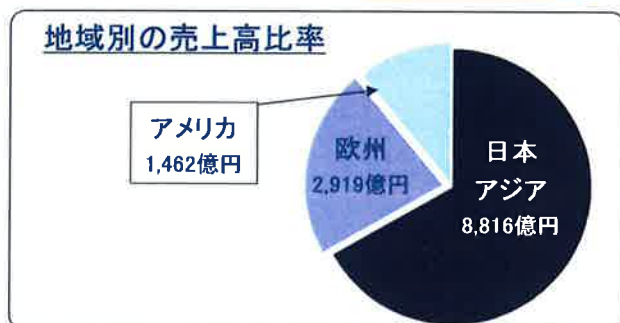
1. AGCグループの紹介

AGC

事業内容

(2016年12月期)

AGC グループ (売上高：1兆2,826億円 営業利益：963億円)



※売上高の構成比は、外部顧客に対する売上高を使用。

※セグメント別売上及び利益は、消去前の数字であるため、各セグメント別売上及び利益の合計は全社売上及び利益とは一致しません。

4

報告内容

1. AGCグループの紹介
- ▶ 2. AGCの安全衛生方針
3. 職場のリスクを下げるための取り組み
4. 安全意識を上げるための取り組み
5. 安全活動に果たす経営者の役割
6. まとめ

5

2. AGCの安全衛生方針

AGC

安全衛生管理についての考え方

「安全なくして生産なし」という安全衛生ポリシーの下に、各階層の管理者が自らの安全衛生に対する考え方を明確にしなければならない。

TOPの考え方：

1. 重篤災害発生のリスクを「下げる」
2. 安全衛生にかかわる意識を「上げる」

これをAGCグループの基本方針に展開し、組織的に行動する。

6

AGCグループ労働安全衛生基本方針 (2013.03.29改訂)

【基本方針】

AGCグループは、「**安全なくして生産なし**」という安全衛生のポリシーの下に、各階層の管理者が自らの安全衛生に対する考え方を明確にし、これを働く部下全員に浸透・共有化させ、一人ひとりが安全衛生活動を推進することを目指します。


【労働安全衛生行動指針】

私たちは、すべての労働災害・職業性疾病に着目し、安全衛生パフォーマンスの継続的向上を図るために、以下の行動指針に基づき、労働安全衛生活動を積極的に展開します。

1. 仕組みとしてのOHSMSを活かすために、リスクアセスメントのレベルアップを図ります
2. 従来型安全活動をマンネリ化させずに継続して実施します
3. **管理者は部下を家族と思って守り、職場の安全を実現します**
設備の本質安全化、作業環境の継続的改善を図ります
4. **安全衛生活動はラインの生産活動の一部と認識して実施します**
安全衛生担当部署はライン管理を適切にサポートします
5. 安全衛生に関する法令、その他要求事項を順守します
6. **全員で参加し、形式ではなく本音で安全衛生活動を実行します**

7

報告内容

1. AGCグループの紹介
2. AGCの安全衛生方針
-  3. 職場のリスクを下げるための取り組み
4. 安全意識を上げるための取り組み
5. 安全活動に果たす経営者の役割
6. まとめ

リスクを下げるために、「機械安全」に取り組む

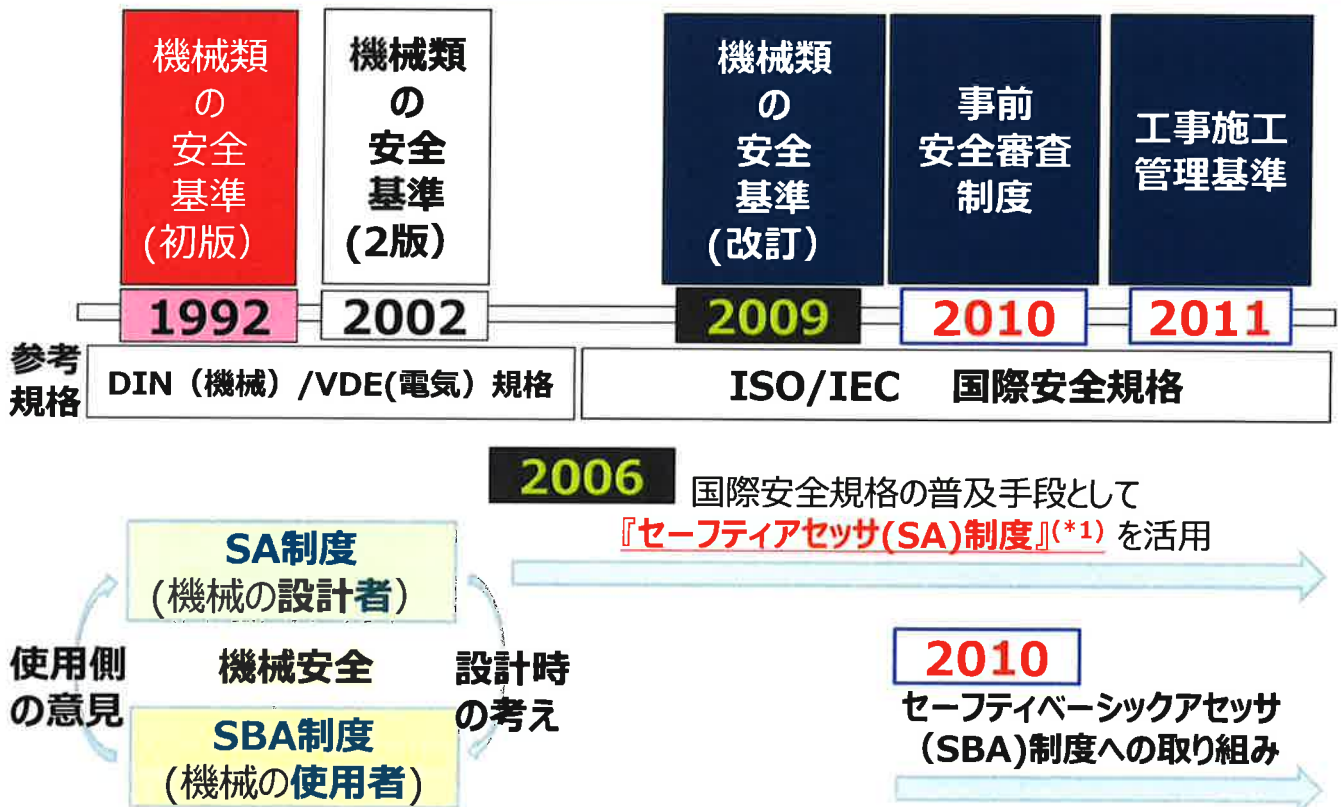
<重厚長大型の装置産業とされるガラス製造業>

- ①重篤災害に結び付きやすい大型連続設備
- ②作業者(人) の管理・注意力だけに頼る施策の限界



9

機械安全にかかわる取り組みの歴史



(*1) : (安全技術応用研究会、NECA、日本認証、TÜVラインランドなどが協力して創設した機械安全技術者資格制度)

機械安全と生産性のトレードオフ～導入当初の苦労を乗り越えて

国際安全規格を見据えた「機械類の安全基準（改訂版）」を
1993年に稼働開始した北九州工場に初めて適用

【止めなくても
容易に侵入できるガード】



【設備を止めないと
侵入できないガード】



ガード /
インタロック機能
を強化

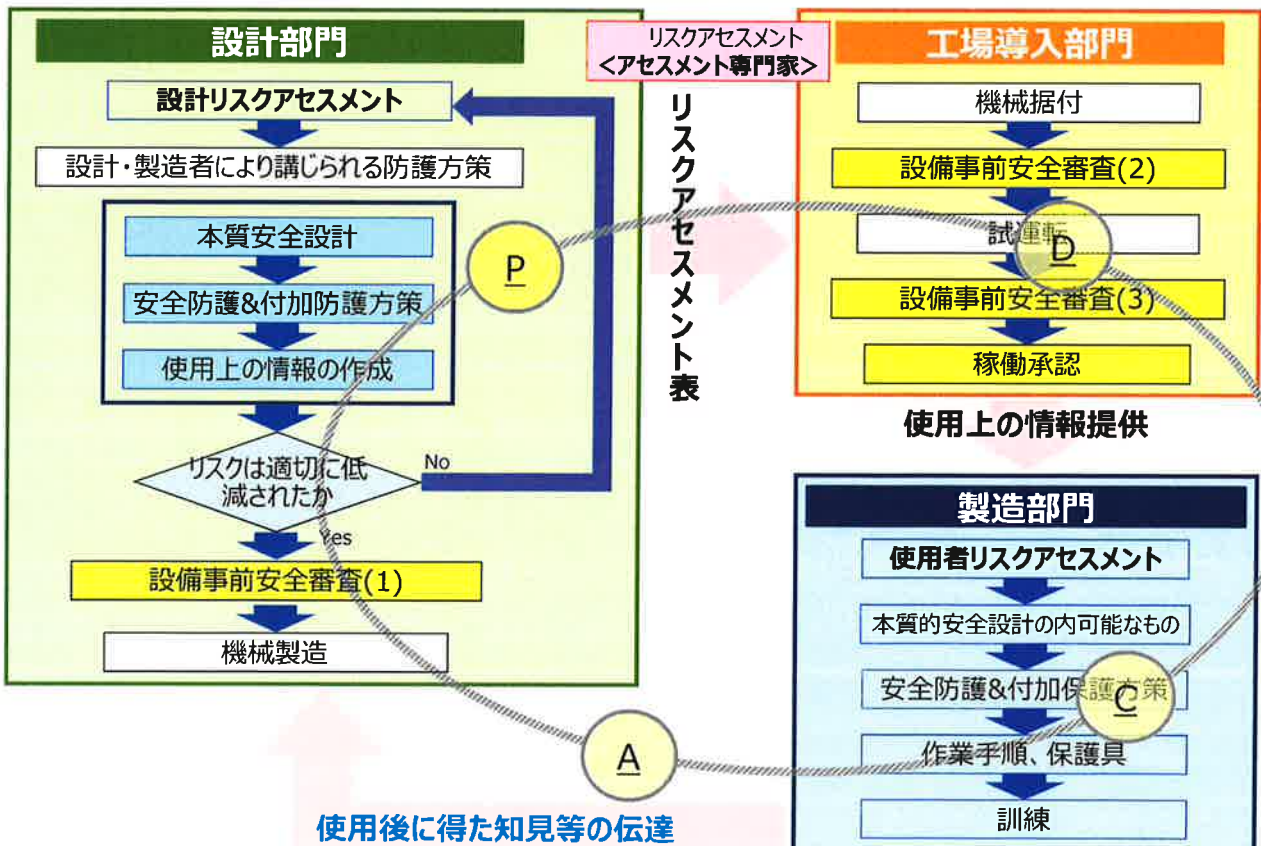
チョコ停・トラブル対処
の都度、自動的に
設備が停止
【稼働率が低下】

繰り返し、対策を実施



チョコ停が激減
【稼働率が向上】
【生産性も向上】

AGCグループが目指す機械安全の姿



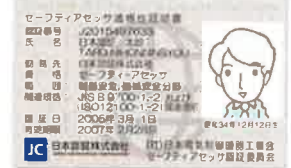
機械安全普及のための SA / SBA 資格制度

国際安全規格に基づく機械安全の知識、能力を
第三者認証する資格制度

資料出所：日本認証HPより

① セーフティアセッサ (SA) 資格

<p>セーフティ・リード・アセッサ <安全性の妥当性について、第三者としての評価ができる></p>	
<p>セーフティ・アセッサ <安全性の妥当性判断の総合力を有する></p>	
<p>セーフティ・サブ・アセッサ <安全性の妥当性確認に必要とされる基礎知識、能力を有する></p>	



② セーフティベーシックアセッサ (SBA) 資格

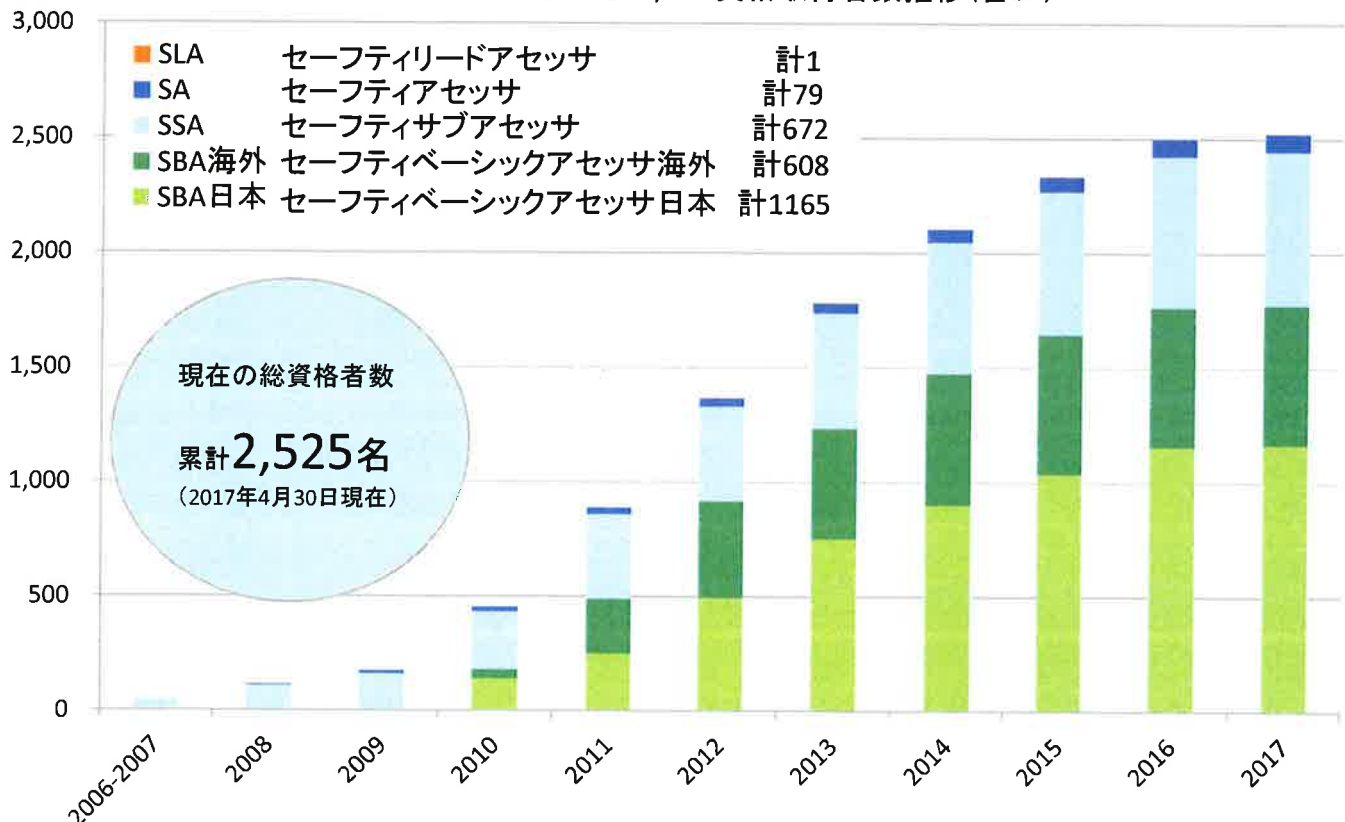
<p>セーフティ・ベーシック・アセッサ [機械安全運用分野] <機械安全に関する共通言語でコミュニケーションできる知識、能力を有する></p>	
---	--



13

SA/SBA 累積資格取得者数の推移 (含ビジネスパートナー)

AGCグループにおけるSA/SBA資格取得者数推移(含BP)



14

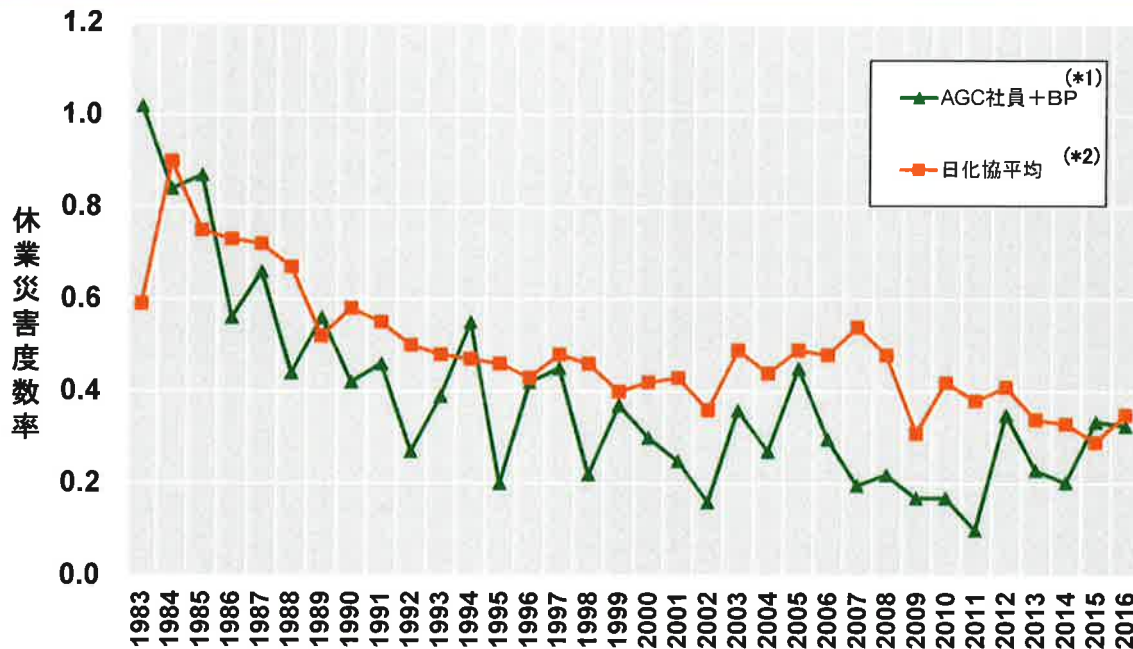
アジアでのセーフティベーシックアセッサ (SBA)研修



設備のライフサイクルを通じた機械安全の確保のために



AGCグループ 国内主要拠点 休業災害度数率の推移



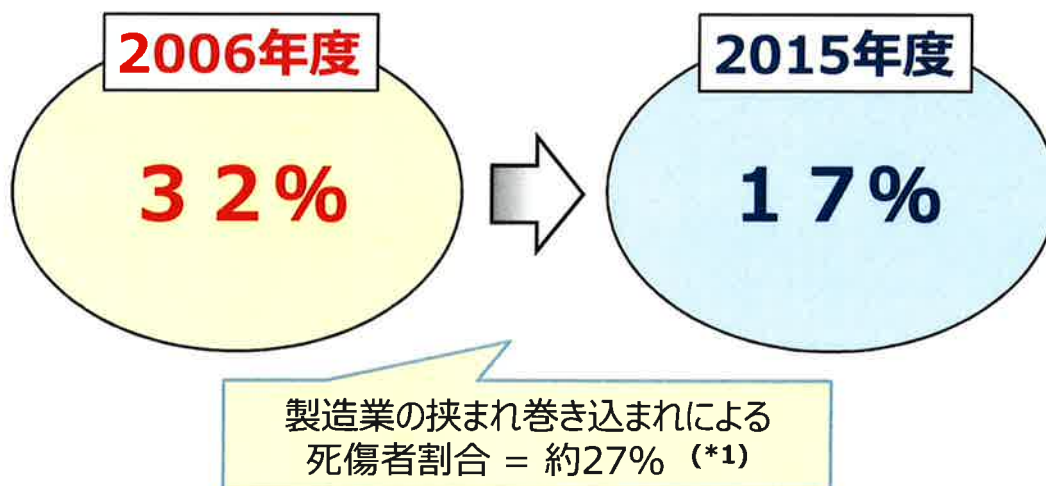
(*1): AGC旭硝子単体拠点+主要関係会社拠点(全12拠点)、ビジネスパートナー含む
 (*2): 資料出所: 日化協アニュアルレポート資料編 2011~2017(日本化学工業協会)

$$\text{休業災害度数率} = \frac{\text{休業災害被災者数}}{\text{延べ労働時間数(100万時間あたり)}}$$

17

挟まれ・巻き込まれ災害の減少

**[挟まれ・巻き込まれ災害が
労働災害全体に占める割合]**
 AGCグループ (日本/アジア)



(*1): 資料出所: 労働者死傷病報告(厚生労働省) : 平成29年度「安全の指標」中央労働災害防止協会編
 (*2): AGC判定基準で「微傷」以上とされた労働災害で、協力業者(ビジネスパートナー)を含む

報告内容

1. AGCグループの紹介
2. AGCの安全衛生方針
3. 職場のリスクを下げるための取り組み
- ▶ 4. 安全意識を上げるための取り組み
5. 安全活動に果たす経営者の役割
6. まとめ

19

4. 安全意識を上げるための取り組み

AGC

様々な教育研修 1 (安全人財を育成し、拠点の安全レベル向上に資する)



優れた組織は「失敗事例」を従業員が共有し、これを糧として仕事や技術を向上させ、組織の成長に繋げる仕組みを持っている。

FAITES HALLでは「失敗事例」を学習することが出来る。

“FAITES”は、「失敗は成功の母 (Failure teaches success)」という格言から名づけられたもので、「失敗に真摯に向き合い、謙虚に学ぶ組織風土を根付かせる」という想いが込められている。

研修では実務演習を交え、事例をきっかけに「上位概念」に遡り、広い範囲で次の失敗を避ける術を体得する

2012年6月 開設

～すでに1,000名以上のマネージャーやキーマンが受講済み

様々な教育研修 2 (安全人財を育成し、拠点の安全レベル向上に資する)

安全強化活動：2009年から実施 (国内12拠点+a)

- ・安全衛生担当者の高齢化 ⇒ 伝承者を育成 (安全中核要員の選抜)
- ・不十分なリスクアセスメント ⇒ 集中教育や活動によるレベルの向上

研修風景



活動風景



『安全中核要員』の人選

キックオフ研修

2017年度 年間スケジュール

安全専門研修

法令編、機械安全編、安全パトロール、
化学物質RA、産業衛生管理
OHSMS内部監査員、他

フォロー研修

部門横断的な
情報交換
(グッドプラクティス
の共有)

成果報告会

拠点の安全レベル/意識の向上活動

▲ 前年11月
21

▲ 10/12

様々な教育研修にかかわる表彰

NPO法人リスクセンス研究会が主催する「リスクセンスフォーラム」表彰

2014年度：Good Risk Sense Award 化学工業日報社賞
(本社モノづくり・人づくり推進室)

テーマ：「リスクセンス向上に資する研修活動～Faites Hallの活用」

一社) 日本化学工業協会からの「レスポンシブル・ケア賞 (RC賞)」表彰

2014年度：RC優秀賞 (本社CSR室)

テーマ：「リスクアセスメントの有効性向上と安全人財の育成を目指した『安全強化活動』」

2015年度：RC優秀賞 (化学品C 人財育成G)

テーマ：「安全実技研修のアジアへの展開」

2017年度：RC審査員特別賞 (千葉工場)

テーマ：「ノンテクニカルスキル教育の普及」

報告内容

1. AGCグループの紹介
2. AGCの安全衛生方針
3. 職場のリスクを下げるための取り組み
4. 安全意識を上げるための取り組み
- ▶ 5. 安全活動に果たす経営者の役割
6. まとめ

23

5. 安全活動に果たす経営者の役割

AGC

「TOP安全ポスター」による啓蒙（変わらない価値観）

TOPによる安全啓蒙ポスターを、2009年より、日本、アジア、欧米の
各拠点 約120ヶ所に配布 12言語、計約12,000枚



AGC "Look Beyond" 

2010年度版



AGC "Look Beyond" 

2015年度版

繰り返し発信する [1/2] (変わらない価値観)



2014年度方針 (2014年度 新年方針説明資料より)

**「コンプライアンスの徹底」、「安全なくして生産なし」を
事業活動の前提とし、以下の方針に取り組む。**

今年の年度方針の前提として、まずはじめに、事業活動の基盤である安全への取り組みについてお話しします。

(中略)

グループ・メンバーの皆さんは、「安全なくして生産なし」が私たちの事業活動の前提であることを再認識してください。

(以下省略)

リスク低減活動と安全意識向上活動を並行して行う

最初に結論を申し上げると、安全確保のためにはリスク低減活動と安全意識向上活動の2つに並行して取り組み、やり続けることが必須だと思っています。

25

繰り返し発信する [2/2] (変わらない価値観)

2017/1/5 2017年度新年キックオフ集会

島村CEOの挨拶



26

報告内容

1. AGCグループの紹介
2. AGCの安全衛生方針
3. 職場のリスクを下げるための取り組み
4. 安全意識を上げるための取り組み
5. 安全活動に果たす経営者の役割
- ▶ 6. まとめ

27

6. まとめ

AGC

まとめ

1. トップが強い意志を示し、社内の隅々まで浸透させることが安全衛生活動の基本 **(安全は投資である)**
2. **機械安全**の推進は、特に製造業において生産性及び品質向上との両立が可能であり、企業価値の向上につながる
3. **安全にかかわる人財の育成と活用によって**「安全文化」が醸成され、「一体となる組織力」を育み、企業価値が向上する

御清聴ありがとうございました

E.O.F